

朝鮮民主主義人民共和国(北朝鮮)

水産事業に注力

2015年4月13日付『朝鮮新報』によれば、同年3月に金正恩第1書記が各地の水産事業所の建設現場を訪問した。訪問の対象は、日本海側の5月27日水産事業所建設現場と黄海南道・陵金島の金山浦塩辛加工工場、金山浦水産事業所であった。5月27日水産事業所は金正恩時代になり初めて建設される現代的な遠洋水産事業所で、金山浦塩辛加工工場、金山浦水産事業所は塩辛を工業的な方法で生産する工場として初めて建設されるとのこと。これらの建設工事は、党創立70周年(10月10日)までに完工するとのことである。第1書記はまた、新たに建設された朝鮮人民軍漁具総合工場と朝鮮人民軍魚粉飼料工場も視察したとのことだ。

このような水産事業(特に、軍関連の水産事業所)の重視は、北朝鮮が「食の問題」を量的側面からだけでなく、質的側面からも捉えはじめている兆候を示すものである。また、軍の経済活動の活発化という側面からも注目される。

北朝鮮、ミラノ万博に出展

2015年5月9日付『朝鮮新報』によれば、同年5月1日から10月31日まで開催されているミラノ万博に北朝鮮が出展しているとのことである。2008年の上海万博に続き2度目の出展であるが、今回は独自に展示館は設けず、数カ国合同のパビリオンで「朝鮮人参の歴史」をテーマに展示しているとのことである。

平壤市内で進む建設

2015年5月11日付『朝鮮新報』によれば、平壤市内で建設事業が進行中とのことである。金策工業総合大学教育者住宅(昨年10月竣工)がそびえ立つ大同江沿いのエリアには現在、住宅および商業施設が建ち並ぶ「未来科学者通り」が建設されており、大同江の中洲・スク島では、科学技術殿堂の建設が急ピッチで進められているとのことである。平壤国際空港第2ターミナル、万景台学生少年宮殿、中央動物園などの建築・改修工事も着々と進んでいるとのことである。

また、万寿台議事堂と万寿台芸術劇場の間には、大型噴水・草花公園が建設中で完成を間近に控えているそうだ。

平壤春季国際商品展開催

2015年5月11日付『朝鮮中央通信』によれば、同月11～14日、平壤の三大革命展示館で平壤春季国際商品展(見本市)が開催された。北朝鮮とニュージーランド、ドイツ、ロシア、マレーシア、モンゴル、スイス、シンガポール、中国、カンボジア、フランス、ポーランド、オーストラリア、イタリア、インドネシア、ベトナム、台湾の300余社が参加した。

2015年6月4日付『朝鮮新報』によれば、ロシアからは今回、食肉加工、建設、豆生産などの分野の12企業が参加し、以前よりも参加企業数が一気に増えたそうだ。その背景には、ロシア政府が平壤国際商品展に関する事業を受け持つロシア沿海地方商工会議所とロシア沿海地方輸出発展センターを積極的にサポートし、商品展に参加する企業を募集したことがあるとのことだ。

鉄道国際協力機構への韓国の加盟申請否決—北朝鮮の反対で

2015年6月4日付韓国『聯合ニュース』によれば、同月2～5日にモンゴル・ウランバートルで鉄道国際協力機構(OSJD/OSShD)の閣僚会議が開催され、韓国はオブザーバーから正会員となるべく加盟申請したが、北朝鮮が反対したため加盟できなかったとのことだ。

羅先市で各種建設事業が進行—銅像、公園、体育館、プール等

2015年6月19～22日のERINAによる現地調査で、羅先市において金日成主席・金正日総書記の銅像と住民便宜施設「海岸園」(プール、理髪、食堂等の複合施設)、「羅先国際商業貿易中心」が完成し、「海岸公園」の整備、室内体育館(中国・吉林省琿春市政府の寄贈)、学生少年宮殿、「羅先経済貿易地帯朝中共同開発および共同管理委員会」庁舎などが建設中であることが判明した。羅津市場もすでに新たな建物(2階建て5棟)が建設され、近いうちに市場はすべて屋内での運営になる予定になっていることも判明した。

(ERINA調査研究部主任研究員 三村光弘)